

町長選挙(5期目)出馬の可能性は。

町長…時期が来れば正式に表明する。



東善一郎議員

質問 五期は長いとの批判、非難も一部にあるが。

答弁 町長…時間的な年数だけで判断するのはどうかと思う。二期で長すぎるという人もいれば、五期しても長くはないという考え方もある。今後、後援会や関係者に意のあるところを伝え、時期がくれば正式に表明する。

質問 メントマリ地区から白浜港西防波堤までの区間に、防潮堤を要望すべきだが。

答弁 町長…当該地区は知名漁港区域内の海岸となっており、漁港海岸として管理者である鹿児島

県と今後協議をしていきます。

質問 漁港内の岸壁に浮き桟橋を設置して、漁船の積荷の上げ降ろしの労力軽減、危険回避を図れないか。

答弁 町長…今年度採択された漁村再生交付金事業に位置づけられており、実施にあたっては、今年度中に港湾整備推進委員会の中で、知名漁港漁村再生交付金事業協議会を開催し、意見集約を図る予定である。

質問 南国石油から港までの臨海道路が危険な状態になっている。新設して港、ホテルや知名小、マリナーパークやメントマリ公園にアクセスできるようにすべきではないか。

答弁 町長…浮き桟橋と同様に計画されており、知名漁港漁村再生交付金事業協議会の中で意見を聞く予定である。

定である。

質問 製水施設の新社、機械の入れ替えが必要となっている。防衛省基地周辺整備あるいは鹿児島県地域活性化事業に乗せるべきではないか。

答弁 町長…整備後二〇年が経過し台風被害や老朽化のため、度々故障が起きています。製水機の入替えや改修に二千万円程度の費用を要する為、基地周辺施設整備事業等を検討していきたい。



現在稼働中の製水施設

真砂子処理施設の更新計画は。

町長…離島流通コスト支援事業で検討。



平秀徳議員

質問 花卉集出荷所の真砂子予冷施設は耐用年数が経過し老朽化が進んでいるが更新の計画は。

答弁 町長…町と致しましても消費地から遠隔地にあり、地理的、鮮度のハンディを持つ本町園芸品目に対し、当装置の重要性を深く認識しており、平成二十五年奄美群島振興開発事業での取り組みを要望し、事業化に向けて進めて参りました。

質問 台風十五号、十六号、十七号の襲来によって切り花や平張・ハウス施設に被害を受けた農家への支援策と平張・ハウスの導入は。

答弁 町長…町としても、

台風被害による農業施設復旧資金、および運転資金について利子補給を行うと共に、台風被害を受けた営農施設の被覆資材処理代金についての助成を行い生産者の負担軽減を図っております。営農用施設整備については、奄美農業創出支援事業を中心として、要望については積極的に参ります。

質問 えらぶ特産品加工場整備に伴い、原料となるシマグワ、その他素材等の生産拡大への取り組みは。

答弁 町長…シマグワの生産圃場計画面積を今年度一畝、来年度一畝の計二畝を目標に生産者の確保や栽培の指導を進めております。他素材等への取り組みにつきましては、事業目的に沿った現状の計画を遂行し、本事業を軌道に乗せた後の取り組みと考えております。

答弁 道路改良について、